

令和5年度 第3回 三方原小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年3月1日（金） 9時00分から10時10分まで
- 2 開催場所 三方原小学校 会議室
- 3 出席委員 小島 信夫、杉山 まり子、大石 千恵子、川越 正一、鈴木 真一、  
安達 香織、小倉 光博
- 4 欠席委員 小楠 譲二
- 5 オブザーバー 吉村 哲志（百里園自治会長）
- 6 学校支援コーディネーター 藤原 明子
- 7 学 校 石川 博則（校長）、江間 美帆子（教頭）、湯川 靖彦（主幹教諭）  
清水 芳晃（CS担当教諭）、藤原 明子（CSディレクター）
- 8 教育委員会 牧野指導主事（教育総務課）
- 9 傍聴者 なし
- 10 会議録作成者 CSディレクター 藤原 明子
- 11 議長の選出

司会の清水CS担当教諭から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、会長から川越委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

12 協議事項

- （1）令和5年度学校関係者評価
- （2）令和6年度学校運営方針及び三方原小いじめ防止等のための基本方針（案）
- （3）令和5年度学校運営協議会自己評価について

13 会議記録

司会から、委員総数8人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）令和5年度学校関係者評価について

議長の指示により、湯川主幹教諭から、別紙資料に基づき令和5年度学校関係者評価について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・PTA加入未加入についてメディア等で話題になっている。三方原小の現状はどうか。（小島委員）
- ・以前は90%程だったと思うが、今年度は3分の2程度。来年度のアンケート（現1～5年）では50%程と聞いている。任意であると伝えていたり、会費も必要だったりする為減少しているのではないか。卒業式の贈呈品も全員無しとした。難しい問題と考えている。（小倉委員）
- ・PTAの活動が無くなると、自治会の活動にも支障がでたり、学校とのコミュニケーションがとりづらくなるのではないか。（小島委員）
- ・10年程前はPTAも子供会も活発だった。今は生活環境の変化もあり活動が難しい面もあると思うが、無くなるということではなく、どうやったら無理なく活動できるかを考えることが大事。学校と連携し、子供たちにとってどのような活動ができるか考えていってほしいと思う。（吉村オブザーバー）

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(2) 令和6年度学校運営方針及び三方原小さいじめ防止等のための基本方針（案）  
について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき令和6年度学校運営方針及び三方原小さいじめ防止等のための基本方針について説明があり、委員から、以下の発言があった。

- ・今後もすばらしい学校運営を期待している。来年度の学校運営方針は、今までと比較してどんなところに重点をおくのか。(杉山委員)
- ・自分の気持ちの伝え方の指導等、気持ちや考えを他の人に伝える力を育てたい。学校で学んだことが大人になったとき役にたつと思うという評価が他校と比較し高いことを強みとして、指導を継続していきたい。(校長)
- ・単に気持ちを伝えられないのか、気持ちを持ってないのかで指導が変わると思う。子供が気持ちを持つことができるよう、日々育てていけるとよいと思う。(杉山委員)
- ・三方原の子供たちの成長を感じる。公園で異学年の子供たちが一緒に遊んでいる。他にも礼儀正しい子を多々見かける。学校でのキャリア教育が生きていると思う。これからのいい方向に進められるとよいと思う。(吉村オブザーバー)
- ・いじめ防止等のための基本方針について、地域それぞれで注意し、何か気がついた時には学校に連絡していきたい。(川越委員)
- ・学校だといじめは本音が出づらい。地域全体でいじめを見逃さないよう、いじめを見かけたら子供に言って聞かせられるような地域にしていきたいと思う。今は見えないところを見る化していくことが課題。子供たちが自ら学ぶことも大事。しっかり話をすれば子供たちもついてくると思う。地域との行事に積極的に参加してもらい早いいじめを見つけることも大事。それぞれの立場での対応が大切。民生委員さんともそれぞれ連携しながら、地域全体で子供たちを育てていきたい。(鈴木委員)
- ・いじめ相談箱は大事。家庭も教員も気持ちと時間の余裕が大事。子供をしっかりと見守れる時間があれば、大人が聞いてくれると思えば子供も話をするとする。大人にもゆとりが大事。(杉山委員)
- ・早期発見が大切。子供が示す変化、危険信号を見逃さないようアンテナをたてて指導してほしい。(大石委員)
- ・いじめに関係したさくら連絡を、学期始め等年3回くらい送信し、保護者に注意を促すこともよいと思う。(小倉委員)
- ・SNSなどのいじめも増えているので、訴えやすい環境を作ってほしい。(安達委員)  
協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(3) 令和5年度学校運営協議会自己評価について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき令和5年度学校運営協議会自己評価についての説明があった。委員からは、来年度の3つの取り組みでよいとの承認を得られた。

その他報告事項等

教頭から、「通学路整備要望調査」の結果についての報告があった。

杉山委員、大石委員、安達委員、小倉委員が今年度で委員を退任されると伝達があった。